

2003年4月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、大西洋からヨーロッパにかけては南北蛇行が大きく、ヨーロッパの西海上とヨーロッパ東部から地中海東部にかけてはトラフ場、ノルウェー海付近ではリッジ場となった。中央・東シベリア、北アメリカ西岸には明瞭な負偏差が分布した。東アジアは広く正偏差に覆われた。

偏西風は、ユーラシア大陸上の亜熱帯ジェットは平年に比べて北寄りだった。太平洋中部からメキシコにかけての亜熱帯ジェットは平年より強かった。北アメリカ北東部から大西洋にかけてのジェットは平年より強かった。

対流活動は、先月に引き続き太平洋のITCZ(熱帯収束帯)は平年より活発となった。特にフィリピン東海上の160°E付近では対流活動域が平年よりも北側まで広がった。インドネシア南部の対流活動は平年に比べて不活発だった。インド洋では南半球側を中心に平年よりも対流活動が活発だった。南アメリカモンスーン、アフリカモンスーン域の対流活動はほぼ平年並だった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、太平洋西

部の大規模発散域の中心はニューギニア島の東海上に位置し、平年の位置よりもやや東寄りだった。また、今月はインド洋東部にも発散域の中心が見られた。

SOI(南方振動指数)は-0.1となり、負の値が続いているものの次第に平年の値に近づいてきた。

世界の天候

① 東日本から中国北部の多雨

キルギスでは、中旬末に発生した大雨と雪解けによる地滑りにより、40人近くが死亡したと伝えられた。

② 中国南部の高温

③ カスピ海周辺からトルコの低温・多雨

トルコ西部のバルケシルでは、月平均気温が9.9°Cで平年より3.7°C低かった。

④ ヨーロッパ南東部の少雨

⑤ ヨーロッパ西部の高温

⑥ アフリカ西部の高温・多雨

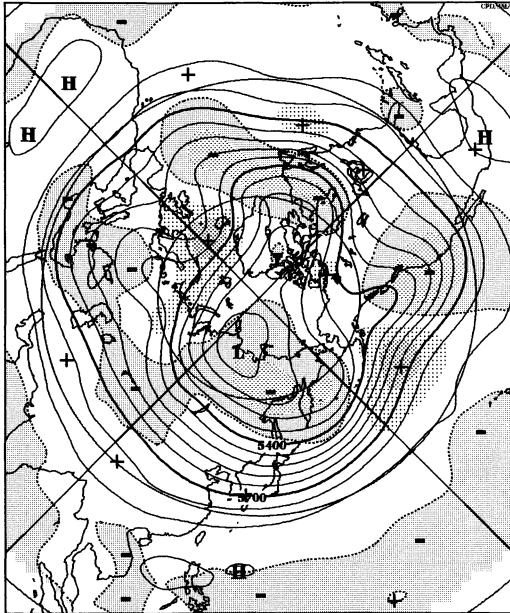
ベナンの首都コトヌーでは、月降水量が541 mmで、平年の411%となった。

⑦ モーリシャス付近の高温

⑧ 米国西部からカナダ南西部の多雨

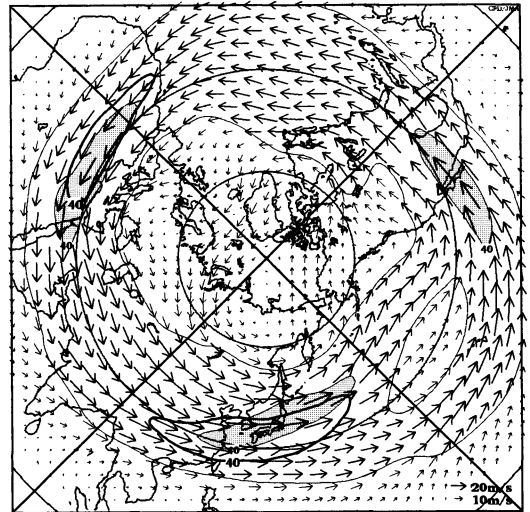
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 川崎 孝)

anomalies
-360 -300 -240 -180 -120 -60 0 +60 +120 +180 +240 +300 +360 (m)



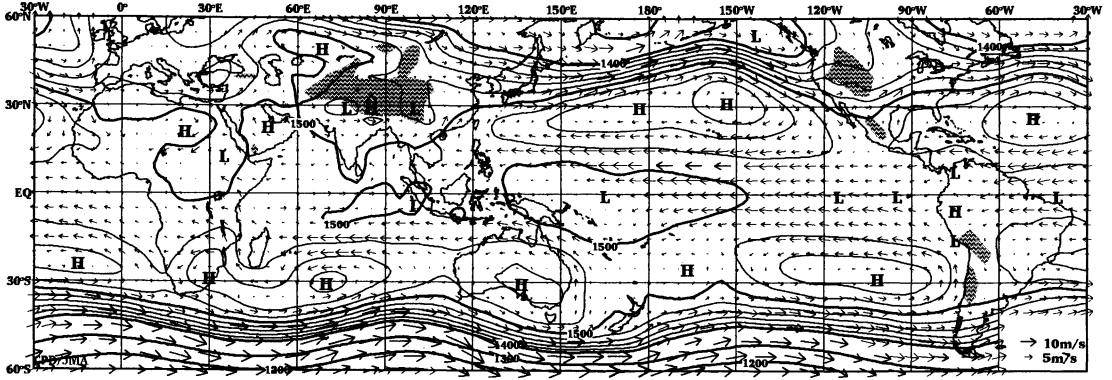
2003年4月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

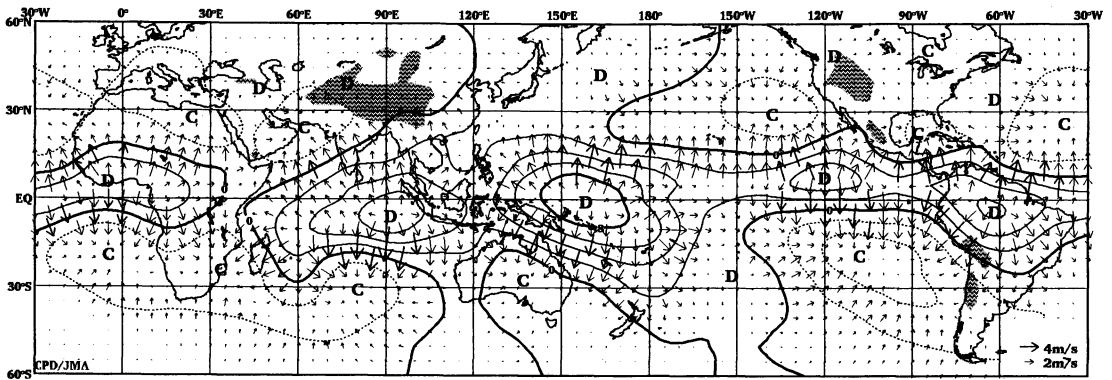


2003年4月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

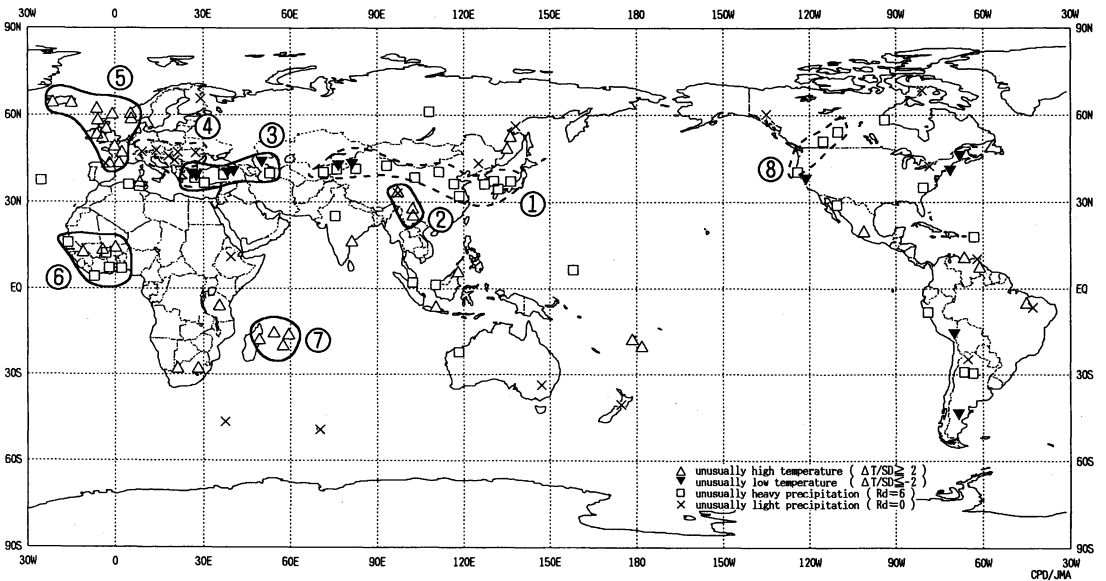
等値線間隔は20 m/s, 陰影部は40 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の40 m/s以上の領域を示す。平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2003年4月の月平均850 hPa高度及び風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2003年4月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2003年4月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.